

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災や地震、水害等の災害時訓練を行い、夜間想定を含め状況に応じた判断が出来ない。また、地域との協力体制を築けていない。	(1)的確な状況判断が出来る。 (2)災害、火災発生時には迅速に非難誘導が出来る。 (3)地域の人とつながりを持つことが出来る。	・職員全員が(日中、夜間、火災発生場所、災害種類等)状況に応じた判断をし、避難に対する知識や行動を身につける。 ・職員と利用者さんが一緒になって、火災、災害に応じた訓練を月に一度は実施し対策を考える。 ・地域の防災訓練や行事に参加する。	12 か月
2	36	一緒に生活する中で、「親しみやすさ」と馴れ馴れしさを混同して捉えている事がある。	(1)親しい仲にも節度ある言葉掛けや対応が出来る。 (2)一人一人の思いを大切に、相手の立場に立って対応出来る。	・丁寧な言葉で会話をする。 ・ご本人・ご家族の思いを考えて対応する。 ・言葉に隠された思いや、言葉に出来ない時の思いを知る努力をする。 ・適切でない言葉や行動があれば、職員が互いに声を掛け合い見直しをしていく。	12 か月
3	11	運営や日常生活支援等に関して、職員の意見や提案が聞ける機会を設け、反映させていく。	(1)全職員が共に知識の向上を目指す。 (2)職員の自主性を育てていく。	・内・外部研修に積極的に参加する。 ・ミーティングで話しやすい雰囲気作りをする。 ・意見や提案を実践する。	12 か月
4					か月

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。  
注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。